

## 平成24年度 病虫害防除技術情報 第2号

平成24年5月17日  
大分県農林水産研究指導センター  
農業研究部

### 果樹カメムシ類の発生に注意しましょう（県北部）

5月上旬以降、県内各地の果樹産地でカメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）の飛来が増加しています。県内8地域の病虫害防除員による報告のうち、宇佐地域のフェロモントラップでの誘殺数が特に多くなっており、県北部地域では注意が必要です。本年2月の越冬量調査においても1㎡当たり頭数が平年より多い結果となっており、地域によっては集中加害される可能性があります。

また、5月11日発表の1ヶ月予報によれば、5月の気温は高温傾向が予想されており、カメムシの活動に好適な条件が続く恐れがあります。

#### 1 発生の状況

フェロモントラップの誘殺数は、5月2半旬に宇佐市で急増しています（図1）。

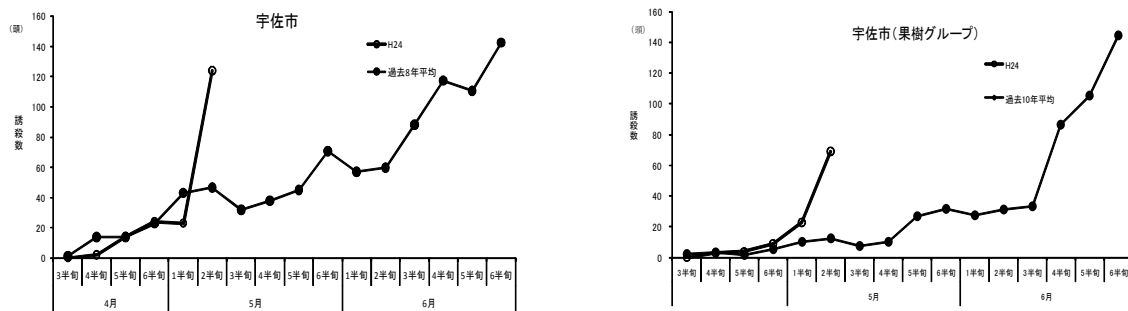


図1 果樹カメムシ類の誘殺状況（半旬別誘殺数）

#### 2 防除の考え方

- (1) 園地への飛来時期や飛来量は地域や園地によって異なるので、園地の見回りを徹底して下さい。また、飛来が多く見られたら一斉防除を実施して下さい。
- (2) 薬剤散布は、カメムシ類が園地に飛来する夕暮れ時から日没直後に行い、カメムシに直接薬剤がかかるようにして下さい。
- (3) カメムシ類の寿命は長く、越冬世代成虫は7月頃まで長期間、多くの植物を移動しながら加害するので、今後の発生予察情報に注意して下さい。
- (4) 防除薬剤は、作物によって使用できる薬剤が異なるので、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し使用して下さい。
- (5) 薬剤は、農業研究部病虫害チームホームページ (<http://www.jpnpn.ne.jp/oita/>) 内にある「大分県主要農作物病虫害及び雑草防除指導指針」を参照して下さい。なお、薬剤によっては、指針の更新日以降に登録内容が変更されている場合があるため、薬剤のラベルに従って使用して下さい。

担当：農業研究部病虫害チーム  
TEL：(0974) - 28 - 2078